

限りある資源を大切に

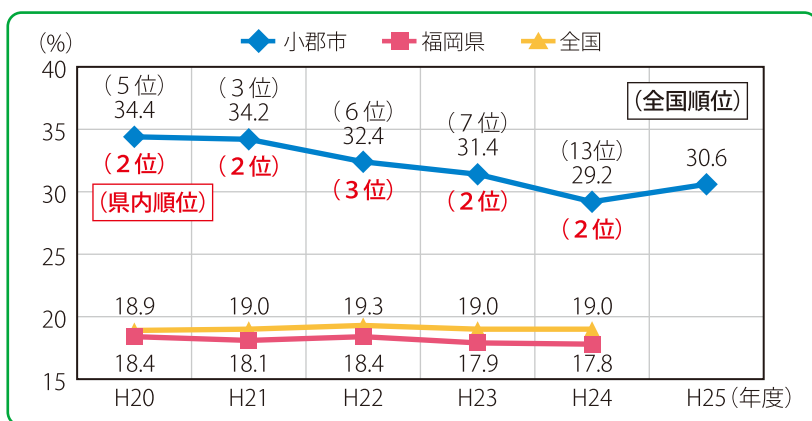
●問合せ先 生活環境課リサイクル推進係 ☎72-2111内線153

市では、平成10年6月に「リサイクル推進都市」宣言を行って以来、市民・事業者・市が一体となってリサイクルによるごみ減量を目指しています。限りある資源をリサイクルし、有効に活用することは、持続可能な社会を形成する上で非常に大事なことです。今回は市のリサイクルの現状をお知らせします。

小郡市のごみのリサイクル率は？

リサイクル率とは、ごみ総量のうちどのくらいリサイクル・資源化されたかという割合です。

平成24年度は29.2%で、全国の人口5万人以上10万人未満の同規模自治体(全275市区町村)中、第13位でした。県内60市町村で見ると第2位で、県内では常に上位を維持しています。



全国第13位・県内第2位

※平成20年度～24年度は、「環境省一般廃棄物処理実態調査結果」の公表値で、平成25年度は市で算定した暫定値です

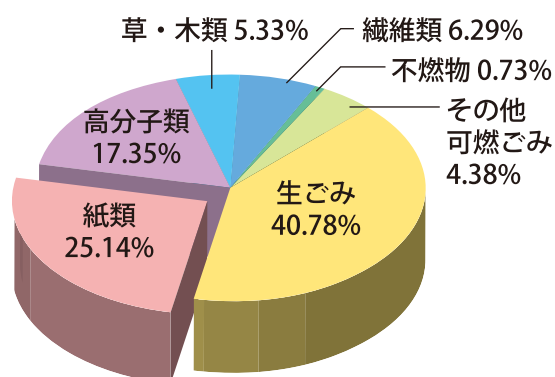
※平成25年度の福岡県および全国のリサイクル率は集計中です

近年、小郡市のリサイクル率は下落が続いていますが、全国・県内順位では上位を維持しています。これは、皆さんが「ごみの減量・分別・リサイクル」に取り組んでいる結果です。引き続きご協力をお願いします。

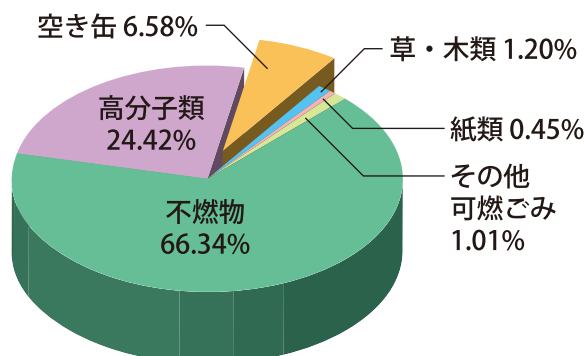
ごみ袋組成分析結果

平成26年11月にごみ袋(燃えるごみ・不燃ごみ)の組成分析を行いました。

H26燃えるごみ組成



H26不燃ごみ組成



※高分子類…レジ袋、プラスチック製品など

市では、ごみ袋の中の資源物(燃えるごみ中の紙類・不燃ごみ中の缶類)の割合を減らそうという取組みを小郡市環境衛生組合連合会とともに進めています。

しかし、前回調査時(平成23年11月)と比較して、燃えるごみ・不燃ごみ袋の中に入っている資源物の割合は増加しています。紙類・缶類は大事な資源です。地域の資源ごみ回収に出せば、ごみ袋代の節約だけでなく、貴重な資源のリサイクルにつながります。

紙類は、月1回(水曜日)の古紙回収へ。缶類は、月1回(日曜日)の空き缶回収へ。
(詳しくは、ごみ収集カレンダーを参照してください)
資源として出せるものは、地域の回収に出しましょう！

